

DD51形ディーゼル機関車 A更新車・B更新車

共通組み立て説明書

注意

お買い上げのお客様へ必ずお読みください。

- 本商品の対象年齢は15歳以上です。対象年齢未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。
- 誤飲の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- ベースメーカーをご使用の方は、マグネットカブラー(連結器)を身体に近づけないようご注意ください。
- マグネットカブラー(連結器の部品)は磁石を使用していますので、テレビ・時計・パソコンなどに近づけないでください。磁気で機能異常が起こる場合があります。

組み立てる時の注意

- 取り付け部を無理な方向に曲げたり引っ張ったりしないでください。
- 部品はプラスチック用ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
- 部品の中には、やむをえず、とがった部分がありますので、気を付けて組み立ててください。
- ステッカーは、必要な部分を切り抜いて貼ってください。
- 部品の加工の際の刃物、工具などのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。
- Nゲージ鉄道模型のパーツなどのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。

「お買い上げのお客様へ」不都合な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

《電話受付先》 バンダイお客様相談センター
〒277-8511 柏市豊四季241-22 ナビダイヤル 0570-041-101

●受付時間 10時～17時(祝日、夏季・冬季休業日を除く)
PHS、IP電話等をご利用の方は04-7146-0371におかけください。

《商品・修理品送付先》 バンダイ 栃木修理・配送センター
〒321-0298 栃木県下都賀郡壬生町おもちゃのまち5-4-67

●営業時間 10時～17時(土、日、祝日、夏季・冬季休業日を除く) 電話番号はお客様相談センター共通

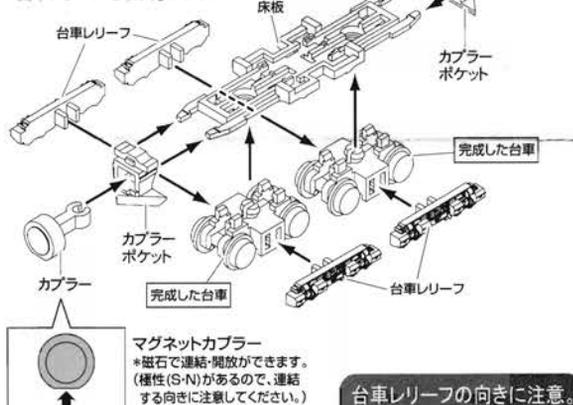
シャーシの組立て

1 〈台車の組立〉

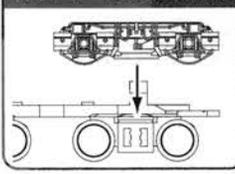
- 前・後、2組の台車を、それぞれ組み立てます。
- 台車枠と台車枠を合わせて、車輪を取り付けます。

2 〈シャーシの完成〉

- 出来上がった台車の5箇所のツメを床板に通します。
- 台車レリーフを取り付けます。



台車レリーフの向きに注意。



Nゲージ化用パーツの取り付け方法

*BTレインジョーティは、動力ユニット(別売)を装着することで、Nゲージの線路上を走行させることができます。

*各種の交換パーツについては、鉄道模型店、ホビージャップなどでお買い求めください。

①機関車への動力ユニットの取り付け

- 「BTレインジョーティ専用動力ユニット①・機関車用」を使用します。
- 通常色(黒)と、グレーがあります。
- 床板前後の穴と、左右2箇所の爪で、車体と固定します。

- *床板(シャーシ)部分を外して、動力ユニットに交換・装着してください。
- *スノープロウは着脱可能です。(カブラーポケットの溝に、爪をはかりと掛けてください。)

- *EF200、EF210、DD53などは、車体長が長いのでカブラーの首振り量が十分にできません。重運転や、極小カーブ、Sカーブ上では、連結が不安定な場合がありますのでご注意ください。

②電車・気動車及び路面電車への動力ユニットの取り付け

- 「BTレインジョーティ専用動力ユニット②・電車・気動車用」もしくは「同動力ユニット③・路面電車用」を使用します。

- 左右4箇所の爪で、車体と固定します。
- ゆるい場合には、両面テープなどで固定してください。

- *イラストは「動力ユニット②・電車・気動車用」です。「動力ユニット③・路面電車用」には前後のカブラーはありません。
- *床板(シャーシ)部分を外して、動力ユニットに交換・装着してください。
- *台車側面に、台車レリーフを取り付けてください。
- (追加ガイドは、走行状況に応じて使用してください。車内の空きスペースに、両面テープなどで固定します。)

③トレーラー(動力の無い車両)への台車の取り付け

- 「BTレインジョーティ専用走行台車④」を使用します。
- 台車部分を外して(床板は付けたまま)、走行台車をセンターピン穴に装着してください。取り付けがゆるい場合には、走行台車の取り付けピンを広げて調整してください。
- 台車側面に、台車レリーフを取り付けてください。
- 旧タイプ床板では、台車の回転止めピンがあります。また、初代床板ではカブラー台座と車輪止め用ピンがありますので、走行台車と当たる部分は切り取って使用してください。

- *台車に取り付けた「台車レリーフ」が走行中に落下しないように、取り付けがゆるい場合には接着剤などを使用して固定してください。
- *スカートのある先頭車に、動力ユニットや走行台車を取り付ける場合は、スカートを取り外すか、または台車のカブラー部分を切り取ってから装着してください。
- *新幹線など車体側にカバーのある車両では、台車レリーフを取り付けできません。

- *SHGフレームでは、Nゲージ化する場合はブロックパーツのうちカブラー取り付けの「ピンなし」を使用します。(または、ピンを切り取ってください。)
- *先頭車でスカートとダミーカブラーを付ける場合は、ブロックパーツは「ピンあり」を使用して、走行台車のカブラー部分を切り取ってください。

- Nゲージ用の線路、コントローラーなどは、別途ご注意ください。
- 線路、コントローラーは、各社のNゲージ規格の製品が共通に使用できます。
- Nゲージにおける使用法は、各社・Nゲージの取り扱い説明書をご覧ください。
- 走行条件によって、牽引できる車両の数は変わります。
- 動力ユニット1台で、通常は4両程度を牽引(自車含む)することができます。(勾配区間や急カーブのある線形では、牽引できる両数が制限されます。)

■KATO製の動力ユニットを使用することもできます。

- ①機関車用・動力ユニット(スカートは取り外してください) *EF64e、DF50、DD53など、裾の低い車両に装着できません。
- 品番11-103 ポケットライン用動力ユニット
- *11-103は、購入時にはカブラーポケットの内側にストッパー(プラ小片)が入っていますので、必ずストッパーを取り外してから装着してください。

- ②電車・気動車用・動力ユニット(台車レリーフは取り付けできません。)
- 品番11-105 通勤電車①: コイルバネ台車タイプ 通勤電車① コイルバネ台車タイプ DT339タイプ 165系、103系など
- 品番11-106 急行電車①: 空気バネ台車タイプ 急行電車① 空気バネ台車タイプ DT32タイプ 485系など
- 品番11-107 通勤電車②: ポルスタレス台車タイプ 通勤電車② ポルスタレス台車タイプ DT61タイプ E231系など
- 品番11-104 チビ客車用動力ユニット
- *「チビ客車用動力ユニット」は、手すりを切り取って装着します。(車両によっては、床板の一部を切り取る加工が必要な場合があります。)

- ③トレーラー用・台車(台車レリーフは取り付けできません。)
- 品番11-099 通勤電車①: コイルバネ台車タイプ
- 品番11-098 急行電車①: 空気バネ台車タイプ
- 品番11-097 通勤電車②: ポルスタレス台車タイプ
- このほか、割りピン取り付け方式の、各社台車を取り付けることができます。

■パンタグラフの交換

- *お好みのNゲージ用パンタグラフを別途お買い求めの上、交換してください。
- KATO: 11-401 PS14: 直流パンタグラフ グリーンマックス: 80-2: PS13: 直流パンタグラフ
- KATO: 11-403 PS22: 直流・下枠変換パンタグラフ グリーンマックス: 80-3: PT42: 直流パンタグラフ
- KATO: 11-404, 11-420 PS16: 直流パンタグラフ グリーンマックス: 80-5: PT43: 直流パンタグラフ
- クロスポイント: PT71C: シングルアームパンタグラフ
- *11-420は、屋根穴が4箇所の屋根に対応します。
- このほか、取り付けピンが縦2本方式の、各社・パンタグラフを取り付けることができます。

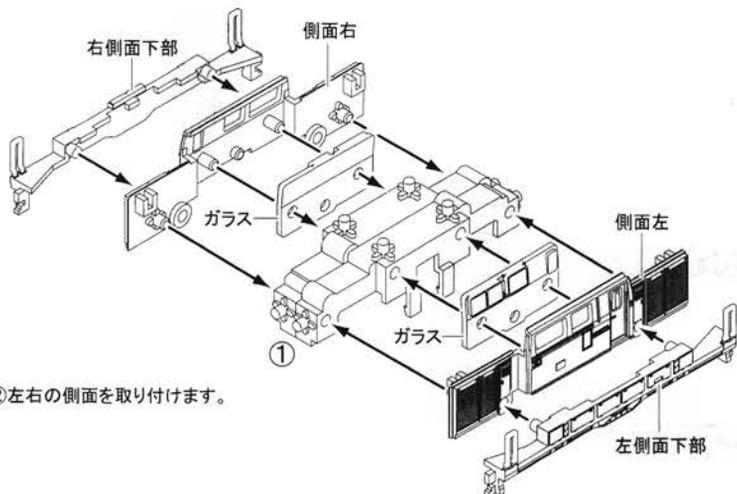
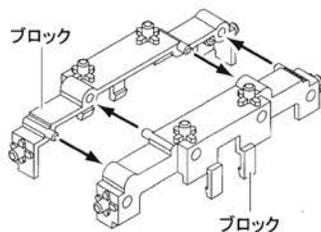
- *各種の交換パーツは、メーカー、形式によって取り付けが固い(緩い)場合もありますので、それぞれ調整のうえ取り付けてください。またパーツによっては加工が必要なものもあります。
- *動力ユニットの装着には、車体によっては車体側の一部(ガス、スカートなど)や、動力ユニットの床板などを切り取る等の加工が必要な場合があります。

*取り付け部が固い場合があります。その場合にはドライバーの先などを利用して、しっかりと取り付けてください。

*取説に記載されている車両は、バリエーション内の一部です。正面パーツ、屋根パーツなどは、車種・塗装によってセットされているパーツが異なりますのでご注意ください。

機関車用車体の組立て

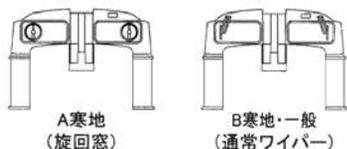
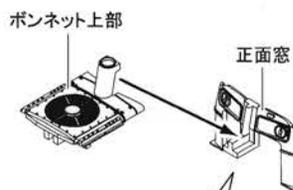
①左右のブロックパーツを合わせます。



②左右の側面を取り付けます。

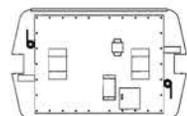
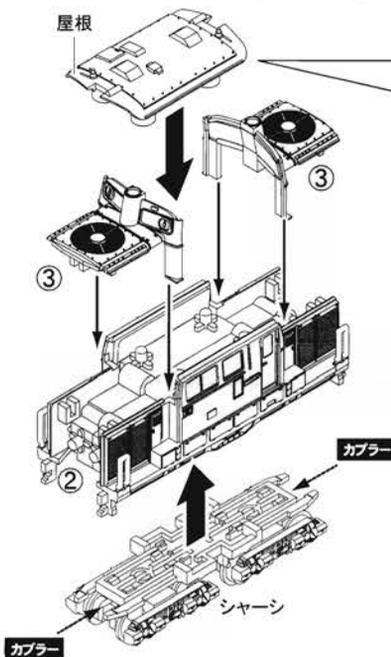
③正面窓とラジエター上部を組み合わせます。

*前・後、2組を組み立てます。

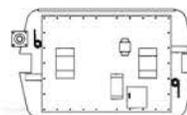


*貨物用800番台には、A寒地はありません。

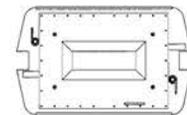
④先に正面窓を取り付けてから、屋根とシャーシを取り付けます。



重連形・後期 (扇風機付き)
(1010~1193)



重連形・後期
無線アンテナ装備
(1010~1193)



貨物用・後期
(855~899, 1801~1805)

ステッカーの貼付け位置

*貼り付け位置の参考例です。台紙からお好きなものを選んで、切り抜いて貼ってください。(刃物のお取り扱いには、充分にご注意ください。記載の無いものはお好みの位置にお貼りください。)

A更新車
車体番号 DD511166



車体番号 DD511166



B更新車
車体番号 DD511152

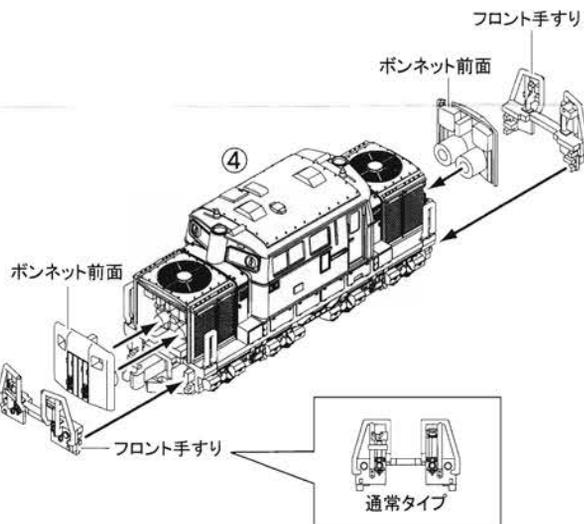


車体番号 DD511152



* DD51は動力ユニットには対応していません。
Nゲージ化する場合は、走行台車Tを使用してください。
(編成後部の車輛に動力ユニットを入れてください。)

⑤ボンネット前面と手すりを取り付けます。



車体番号

B更新車(赤)

A更新車(青)

00 51 854	00 51 854	00 51 854	00 51 854	00 51 1043	00 51 1043	00 51 1043	00 51 1043	00 51 1082	00 51 1082	00 51 1082	00 51 1082
00 51 873	00 51 873	00 51 873	00 51 873	00 51 1047	00 51 1047	00 51 1047	00 51 1047	00 51 1086	00 51 1086	00 51 1086	00 51 1086
00 51 889	00 51 889	00 51 889	00 51 889	00 51 1050	00 51 1050	00 51 1050	00 51 1050	00 51 1088	00 51 1088	00 51 1088	00 51 1088
00 51 890	00 51 890	00 51 890	00 51 890	00 51 1057	00 51 1057	00 51 1057	00 51 1057	00 51 1089	00 51 1089	00 51 1089	00 51 1089
00 51 893	00 51 893	00 51 893	00 51 893	00 51 1059	00 51 1059	00 51 1059	00 51 1059	00 51 1090	00 51 1090	00 51 1090	00 51 1090
00 51 1147	00 51 1147	00 51 1147	00 51 1147	00 51 1061	00 51 1061	00 51 1061	00 51 1061	00 51 1130	00 51 1130	00 51 1130	00 51 1130
00 51 1154	00 51 1154	00 51 1154	00 51 1154	00 51 1065	00 51 1065	00 51 1065	00 51 1065	00 51 1132	00 51 1132	00 51 1132	00 51 1132
00 51 1165	00 51 1165	00 51 1165	00 51 1165	00 51 1074	00 51 1074	00 51 1074	00 51 1074	00 51 1154	00 51 1154	00 51 1154	00 51 1154
00 51 1166	00 51 1166	00 51 1166	00 51 1166	00 51 1076	00 51 1076	00 51 1076	00 51 1076	00 51 1157	00 51 1157	00 51 1157	00 51 1157
				00 51 1080	00 51 1080	00 51 1080	00 51 1080	00 51 1158	00 51 1158	00 51 1158	00 51 1158
				00 51 1081	00 51 1081	00 51 1081	00 51 1081	00 51 1162	00 51 1162	00 51 1162	00 51 1162